

第3号様式(第8条関係)

技 術 者 経 歴 書

(工事種別 _____)

職 名	氏 名	年齢	最 終 学 校		法令による免許等		実 務 経 歴	経験年月数	技 術 者 区 分		
			学校名	専攻学科	名 称	取得年月日			1級	2級	その他
								年 月			
								年 月			
								年 月			
								年 月			
								年 月			
								年 月			
								年 月			
								年 月			
								年 月			
								計			

職名	氏名	年齢	最終学校		法令による免許等		実務経歴	経験年月数	技術者区分			
			学校名	専攻学科	名称	取得年月日			1級	2級	その他	
								年 月				
								年 月				
								年 月				
								年 月				
								年 月				
								年 月				
								年 月				
								年 月				
								年 月				
								年 月				
									計			

技術者経歴書（第3号様式）

記入上の注意

1. 技術者経歴書は、希望する工事種別毎に、別葉で作成すること。
2. 審査基準日の直前営業年度末現在における技術者について作成すること。
3. 工事種別の組み替えをしない場合で、経営事項審査の技術者人数と同じく申請する場合は、指定外の様式によることも構わないものとする。
なお、上記以外でも既存の技術者経歴書を活用することは差し支えないが、この場合は指定する記載事項及び方法を満たすよう修正すること。
4. 技術者経歴書には、建設業法第7条第2号イ、ロ、ハ又は第15条第2号イ、ハに該当し、かつ常勤の職員のみ記載すること（事業主、代表者等も含むことができる）。
5. 「法令による免許等」欄は、希望する工事種別に関するもののみ記載すること。
6. 「実務経歴」欄は、審査対象年度に当該技術者が従事した工事のうち最大のものを1年に1件記載するものとし、当該工事における工事名及びその者の地位を記載すること（事業主、代表者等は、職務内容でよい）。
7. 「技術者区分」は、入札参加申込業種に対する技術者区分一覧表により、1級、2級、その他の該当欄に○印を記入すること。